

行動計画テーマ8関連

本市特有の観光スタイルの創出と育成

～地域資源と次世代エネルギーの相乗効果による観光産業の活性化～

テーマ8: (1) 計画の全体概要

■ 目的

本市特有の資源を活かした新しい観光のスタイルの創出と、それを拡げていくための仕組みづくり

■ 前提

川内港発の甕島への高速船やエコカー普及に関するインフラなど、新しい観光スタイル実現のための交通インフラが整っていること

■ 展開する主な個別事業

エコキャンパクの
プログラム洗い出し※

- ・平成22年度より推進してきた本市の観光振興メニューである「キャンパク」において、「エコキャンパク」特集を実施し、「エコ」の要素を盛り込んだ地域特有のプログラムを多く企画

エコキャンパクのプログラムや
その他地域資源などを組み
合わせたプランの提案※

- ・エコキャンパクの各プログラムと通常の「キャンパク」プログラムを組み合わせ、新しい本市回遊ルートを提案
- ・本市をこれまで支えてきた基幹エネルギーも組み込んだ回遊ルートを提案

EV等の新たな
交通インフラの
観光面での利用促進※

- ・滞在プランに沿って観光する際に、電気自動車やハイブリッドカーなどの「エネルギーの新しい使い方」を取り入れた交通インフラを利用しやすいよう整備

観光と交通に関する
一体的な情報提供の実現※

- ・観光メニューに関する情報や交通インフラに関する情報をリアルタイムに発信可能・入手可能な仕組みを構築

※印の項目については、具体的な進め方について後述する

テーマ8: (2)テーマに係る背景①

現在の観光トレンド：パッケージを利用しない形態の増加

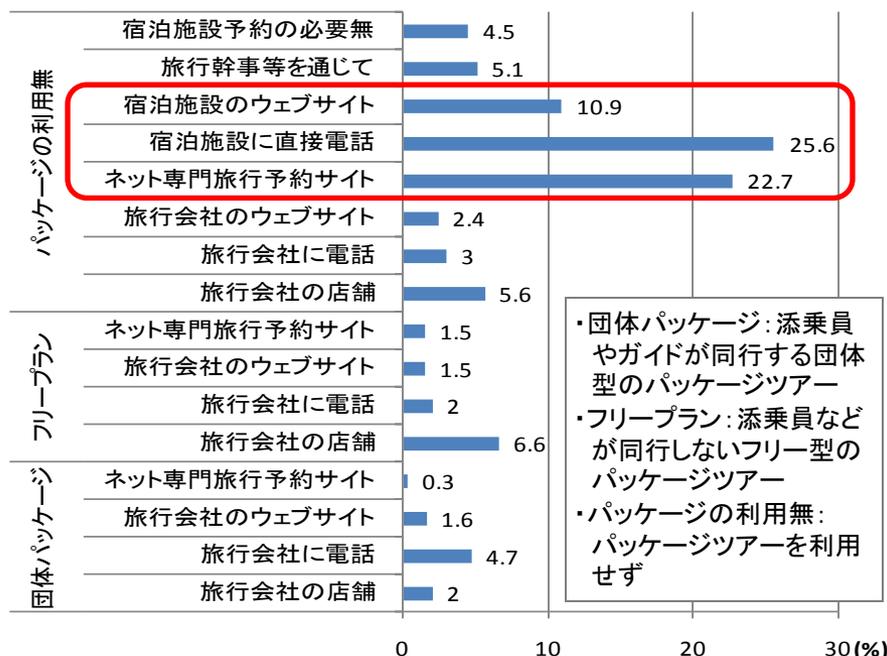
○2010年の国内宿泊観光旅行の申し込み方法のうち、最も割合が大きいのは「パッケージの利用をせず、宿泊施設に直接電話」、次に割合が大きいのは「パッケージの利用をせず、宿泊ネット専門旅行予約サイトを利用」であった。

着地型観光に関する消費者構造：参加に踏み切りにくいが、参加すると満足する

○着地型観光(「産業観光」、「グリーンツーリズム」、「エコツーリズム」、「ヘルスツーリズム」、「文化観光」など)に興味を持つ人のうち28.5%しか実際に参加しないが、参加した人の52.9%はリピーターになる。

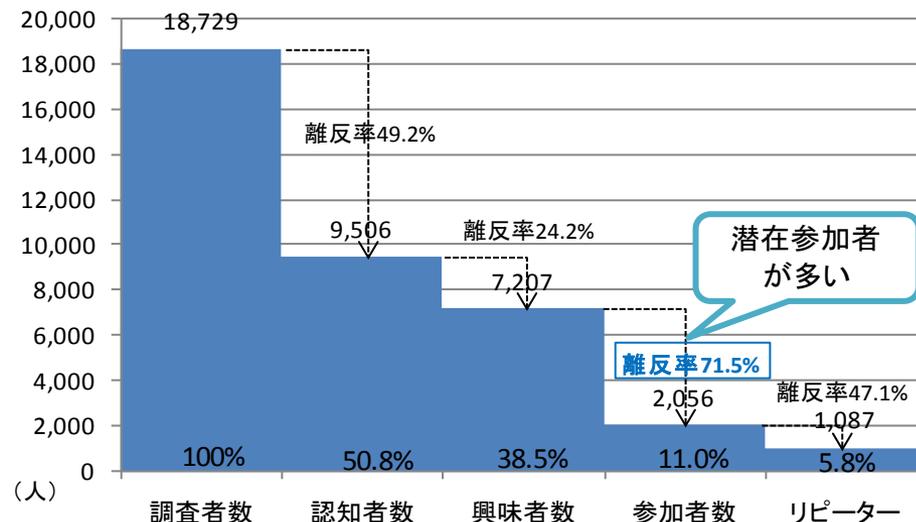
○近年、着地型観光は人気があるが、「利益はあまり高くない」というデメリットがある(国土交通省「着地型旅行市場現状調査」より)。

図：国内宿泊観光旅行の申し込み方法と旅行会社利用率



(出典) (財)日本交通公社「旅行者動向2011」より作成

図：＜消費者アンケート結果：着地型旅行に関する消費者の構造＞



(出典) 国土交通省「着地型旅行市場現状調査」より作成

テーマ8: (2)テーマに係る背景②

本市の観光産業の実態：観光客は増加傾向だが日帰り客が大半

○観光客数は増加傾向にあり、2010年の観光客総数は244万人であるものの、うち、日帰り客が212万人、宿泊客が33万人と日帰り客が9割近くを占めているのが現状である。

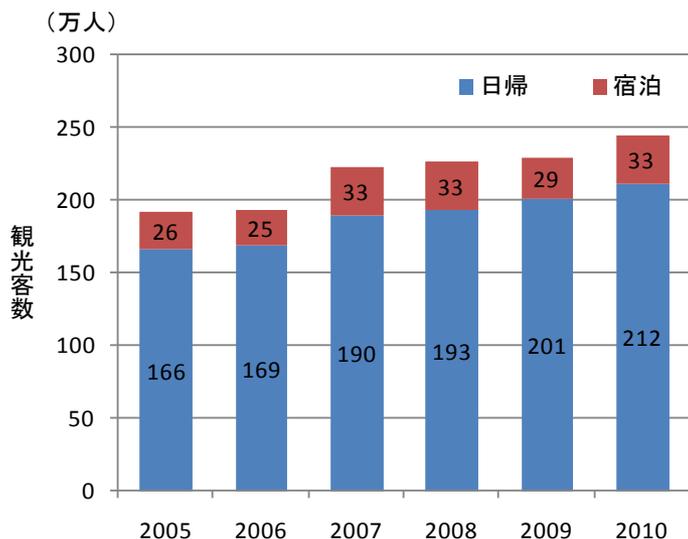
市内事業者の今後の事業展開に関する意向：観光産業強化の意向

○平成23年7月実施の「企業向けアンケート」の結果、産業発展の方向性として、観光産業の強化を挙げる事業者が2番目に多く、17%にのぼる。

地域成長戦略における観光産業の位置づけ

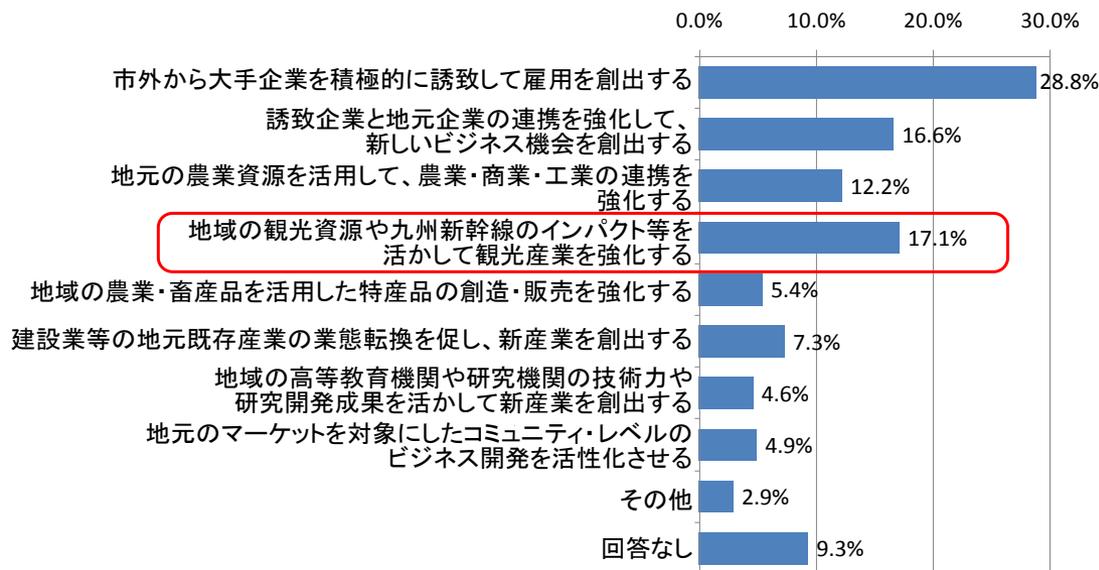
○4つの戦略ビジネス分野の一つとして「観光ビジネス」が設定され、成長分野として期待されている。

図 本市における日帰り、宿泊別観光客数の推移



(出典) 第1次薩摩川内市総合計画を参考に作成

図: <企業アンケート結果:薩摩川内市の産業発展の方向性に関する考え方>



(出典) 地域資源の活用による地域産業振興方策に関する調査研究

テーマ8: (3)モデル全体イメージ

- すでに実施している体験型旅プログラム「きゃんぱく」への次世代エネルギーの利用や、市内のエネルギー関連設備を観光対象としてショーケースのように利用する。
- 本市の地域特性を踏まえた観光産業強化の方向性を大きく二つに集約し、以下のとおりとする。

ロハス×ゼロエミッションの組み合わせで
利便性を失わずに
自然・農山漁村文化・癒しを体験

本市を支えてきた基幹エネルギーと
これから支えていく次世代エネルギーの
舞台裏を見学

具体的な
観光スタイル

- (1) エコツアーで巡る
- (2) レンタカー等で巡る
- (3) 自転車で巡る

具体的な
観光スタイル

- (4) エネルギーの
舞台裏を巡る

<ロハス>

自然・農山漁村文化・癒しなどを
地域特性を踏まえたうえで
観光資源として提供

支える

<ゼロエミッション>

次世代エネルギーと
EVやスマートハウスを
組み合わせて活用

<基幹エネルギー>

原子力・火力

スマートグリッド

(次世代エネルギーと基幹エネルギーを賢く使う仕組み)

きゃんぱく
の既存プログラムに付加

テーマ8: (4) 具体的事業展開イメージ①

エコきゃんぱくのプログラムの洗い出し（呼び込みのためのコンテンツ作り）

○「エコきゃんぱく」特集のコンテンツとして地域特有かつ環境調和型のプログラム（「エコ」プログラム）を市民や市内事業者と協働して複数企画

市民・市内事業者との協働による「エコ」プログラムの新規企画例

既存のきゃんぱくプログラムの中で「エコ」認定の可能性のあるプログラム例

自然

【キーワード(例)】

地域固有の生物や希少種を知る・見る、トレッキング、アウトドア体験など

- ・藪牟田池ガイド付きトレッキング
- ・長目の浜ガイド付き散策

- ・カヌーを作ろう
- ・竹紙でつくる世界に一つだけのメモ帳
- ・甑のグルメと癒し体験

農林水産業

【キーワード(例)】

有機農産物を味わう・購入する、棚田オーナー制度、里山・森林保全ボランティア体験 など

- ・甑島養殖マグロの学校(見学等)
- ・ファームイン稼木宿泊
- ・林間学校+大人の休日
- ・竹林・森林管理ボランティア
- ・棚田オーナー制度

- ・甑島で塩作り
- ・つけあげ工場ミニ体験
- ・郷土芸能観劇と地域特産品食材料理の試食会
- ・甑のグルメと癒し体験

次世代エネルギー

【キーワード(例)】

EVレンタカーの利用、自転車の旅、エネルギーを賢く使う宿泊施設など

- ・甑島マグロ養殖場見学
- ・リノベーション古民家(武家屋敷)宿泊
- ・スマートハウス化した温泉宿に宿泊

・該当なし

【その他活用可能性がある地域資源】

川内大綱引・川内川花火大会・こしき島アクアスロン大会・いむた池梅マラソン大会・とうごう天神梅マラソン大会・川内川河口マラソン・ウォーキング大会

など

テーマ8: (4) 具体的事業展開イメージ②

エコキャンペーンのプログラムやその他地域資源などを組合わせたプランの提案

○エコプログラムを組み合わせた回遊ルート of 提案等によるソフト面の整備と、EV等の新たな交通インフラの整備による次世代エネルギー導入と観光振興支援

(1) エコツアーで巡る

【取り組み内容】

- ・地元旅行会社等と協働してツアープランを企画

【交通インフラ関連の整備】

市内旅行会社が次世代交通インフラを導入しやすい仕組みの整備

- ・電気バスを導入しやすい仕組み(リース等)
- ・電気バス用の充電設備の整備(やそれに対する補助)

(2) レンタカー等で巡る

【取り組み内容】

- ・レンタカー会社やタクシー会社等と協働し、回遊ルートプランを掲載した冊子等を配布

【交通インフラ関連の整備】

観光客が利用しやすい次世代交通インフラの整備

- ・EVレンタカー、EVタクシー・バス、超小型モビリティ導入
- ・風力発電を利用したEV充電設備等の整備
- ・観光乗合タクシー・バス事業の実施

(3) 自転車で巡る

【取り組み内容】

- ・上甕島を中心に、地元事業者と協働し、レンタサイクル用回遊ルートを紹介
- ・ロードバイクにお勧めのルートやイベントの整備

【交通インフラ関連の整備】

自転車を利用しやすい道路や設備の整備

- ・レンタサイクルの台数拡充(ロードバイク、電動アシスト)
- ・自転車が走りやすい工夫(必要に応じ)
- ・自転車対応の宿泊施設の整備

(4) エネルギーの舞台裏を巡る

【取り組み内容】

- ・薩摩川内市の観光協会が中心となってツアーを実施
- ・九州電力等関連設備設置者と協働してツアープランを企画

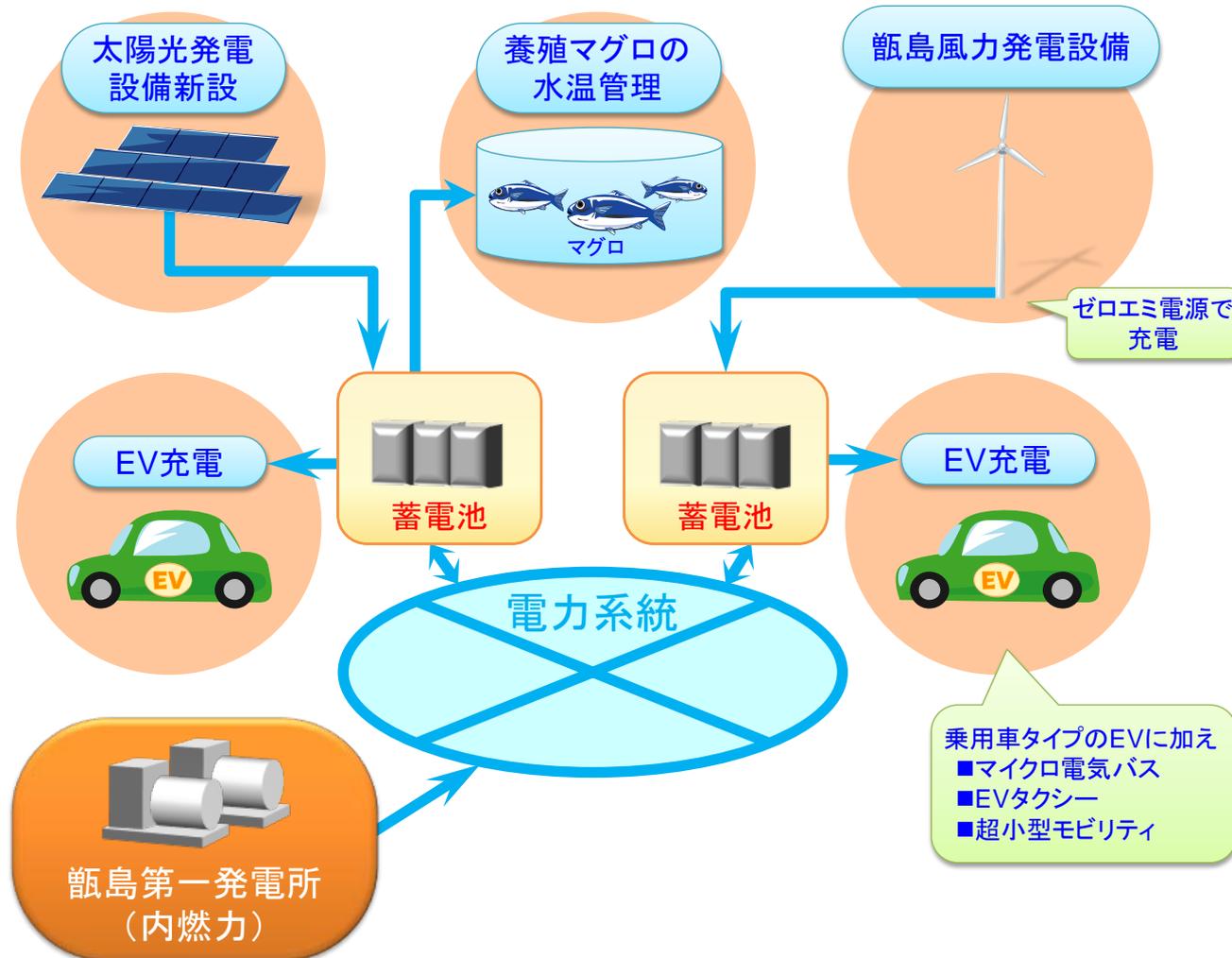
【交通インフラ関連の整備】

利用しやすい次世代交通インフラの整備

- ・EVレンタカー、EVタクシー導入
- ・風力発電等を利用したEV充電設備等の整備

テーマ8: (4) 具体的事業展開イメージ③

- 甌島は海洋エネルギーを含めた次世代エネルギーについて高い潜在可能性が認められている。
- 今後「エコアイランド」となりうるポテンシャルを保有していることを活かし、甌島において、EV充電設備等のハード面の整備を行っていくことで、エコツーリズムの促進を図ることが可能。



テーマ8: (4) 具体的事業展開イメージ④

観光と交通に関する一体的な情報提供の実現

○観光メニューに関する情報や交通インフラに関する情報をリアルタイムに発信可能・入手可能な仕組みを構築する。

情報を双方向・リアルタイムに交わす仕組みの構築

○市内の観光関連の事業者や観光客によりリアルタイムの観光情報をやりとりできるデータベースを構築し、観光客のニーズに即時応えられるシステムを構築する。

